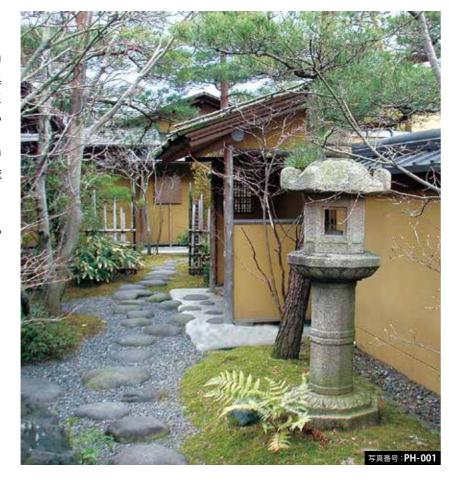
燈籠

燈す籠と書く燈籠の起源は中国大陸にあり ます。仏に燈火(ともしび)を供養する仏具 であり、朝鮮半島では新羅統一時代に多く 造立され、仏教伝来と共にわが国に伝えら れました。

以来、仏堂や神殿の前にも立つようになり ましたが、安土桃山時代以降、茶の湯の流 行に伴い茶庭に石燈籠を配するようになり、 庭園向きの新しい形が生み出されました。 飛石と共に現代住宅の庭園にも多く用いら れるロングベストセラーとなっています。



宝珠

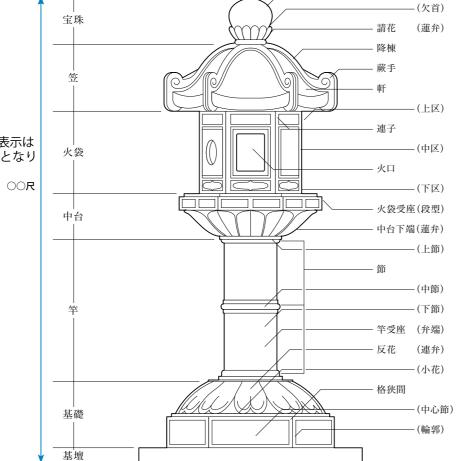
基本型石燈籠

- 1. 構成と部分の名称
- 2. 寸法表示

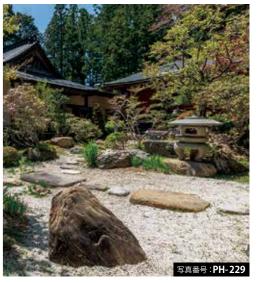
奥の院型の寸法表示は 全高が寸法表示となり ます。 $\bigcirc\bigcirc$ R

雪見型の寸法表示は









灯籠:輸入御影石



YGL-011 丸雪見 1.5尺(40kg) 3.0尺 (320kg) 3.5尺 (500kg) 2.0尺(90kg) 2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)

★寸法 = 笠幅



YGL-008 古代丸雪見

1.5尺(40kg) 3.0尺 (320kg) 2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg) 2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-016 六角雪見

1.5尺(40kg) 3.0尺 (320kg) 2.0尺(90kg) 3.5尺 (500kg) 2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)

★寸法 = 笠幅



YGL-014 古代角雪見

1.5尺(40kg) 3.0尺 (320kg) 2.0尺 (90kg) 3.5尺 (500kg) 2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-010 泉涌寺型丸雪見 3.0尺 (320kg)

1.5尺(40kg) 2.0尺(90kg) 3.5尺 (500kg) 2.5尺 (170kg) 4.0尺 (750kg)

★寸法 = 笠幅



YGL-019 勧修寺

2.0尺 (150kg) 3.0尺(300kg) 2.5尺 (200kg)

★寸法 = 笠幅

緑化資材

造園用具

建築 石材

砂 利 • 瓦

31



YGL-026 蘭渓 1.5尺(70kg) 2.5尺(200kg) 2.0尺 (115kg) 3.0尺 (350kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-034

5.0 尺 (650kg)

6.0 尺 (750kg)

7.0尺 (900kg)

利久







YGL-038

5.0尺(360kg)

6.0尺(600kg)

7.0尺(800kg)

8.0尺 (1200kg)

泰平



















※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

200 YAMAICHIYA N-18

燈籠(輸入御影)

造園製品

造園資材

緑化資材

造園用具

建築石材

化資材

造園用具

建築

利。

瓦

造園製品

生込燈籠



2.5尺(60kg) 3.0尺(80kg) 3.5尺 (120kg) 4.0尺 (150kg)



3.0尺(90kg) 3.5尺 (120kg) 4.0尺 (150kg)



YGL-050 八角生込 3.0尺(90kg) 3.5尺 (120kg) 4.0尺 (150kg)



3.5尺 (120kg) 4.0尺 (150kg)



YGL-061 水蛍 3.0尺 (100kg) 3.5尺 (120kg) 3.5尺 (85kg) 4.0尺(200kg)



YGL-020

天下茶屋

1.2尺 (60kg)

1.5尺 (80kg)

1.8尺 (110kg)

2.0尺 (150kg)

★寸法 = 笠幅



YGL-051 松琴亭(しょ

うきんてい)

3.0尺 (100kg)

3.5尺 (120kg)

4.0尺 (150kg)

YGL-025 岬 1.2尺 (50kg) 1.5尺 (80kg) 1.8尺 (100kg) 2.0尺 (120kg) ★寸法 = 笠幅







層塔 仏教二千四百年の歴史とともに伝えられ てきた仏塔の変遷がすなわち石造美術の 歴史といえるでしょう。この数多い石造美 術の歴史の中でも庭園の中に多く取り入 れられてきたのが十三層塔を代表とする 石塔の仲間です。 青空を背景にそそり立つ石塔を眺めてい ると、なぜか悠久の生命とでもいう心持 ちになり、気力が満ちあふれてきます。 さらに人間の持つ理想が天に向かって昇 ってゆくようで、身も心も委ねると心を暖 かく包んでくれます。 YGL-090



YGL-083

十三重の層塔 6.0尺 (1000kg)

8.0尺 (1500kg)

10.0尺 (2250kg)

12.0尺 (3000kg)

15.0尺 (5000kg)

YGL-088 五重の塔欄干付 6.0尺(260kg) 8.0尺 (460kg) 10.0尺(900kg) 12.0尺 (1600kg)

五重の層塔 丸型

6.0尺(250kg) 8.0尺(450kg) 10.0尺(850kg) 12.0尺 (1500kg)

YGL-089 五重の層塔 角型 6.0尺(250kg) 8.0尺(450kg) 10.0尺(850kg) 12.0尺 (1500kg)

15.0尺 (3000kg)

参考:写真は七重の層塔

YGL-084 五重の塔 6.0尺 (250kg)

8.0尺(450kg) 10.0尺(850kg) 12.0尺 (1500kg) 15.0尺 (3000kg)

緑化資材

造園用具

建築石材

造園製品

出雲燈籠

出雲燈籠



YGL-068 出雲 丸雪見 2.5尺 (230kg)

1.0尺(15kg) 1.5尺(50kg) 2.0尺 (120kg)

★寸法 = 笠幅



YGL-067 出雲 小屋棒

3.0尺 (120kg) 5.0尺 (320kg) 3.5尺 (140kg) 5.5尺 (370kg) 4.0尺 (210kg) 6.0尺 (420kg) 4.5尺 (250kg)



YGL-065 出雲 蘭渓

3.0尺 (100kg) 4.5尺 (430kg) 5.0尺 (700kg) 3.5尺 (150kg) 4.0尺 (250kg) 5.5尺 (930kg)



YGL-069 出雲 六角雪見

1.0尺 (15kg) 1.5尺(50kg) 2.0尺 (120kg)

YGL-077 出雲 藁束(わらたば)

5.5尺 (620kg)

6.0尺 (780kg)

4.0尺 (250kg)

4.5尺 (350kg)

5.0尺 (450kg)

2.5尺 (230kg) ★寸法 = 笠幅



YGL-072 出雲 道しるべ 棒 障子付 3.0尺(80kg)

3.5尺 (120kg)

4.0尺 (170kg)



YGL-073

4.0尺 (170kg)



3.5尺 (200kg) 4.0尺 (250kg)



YGL-066 出雲 織部

4.5尺 (250kg) 5.0尺 (350kg) 2.5尺(60kg) 3.0尺 (100kg) 3.5尺 (150kg) 5.5尺 (380kg) 4.0尺 (210kg) 6.0尺 (400kg)



出雲 道しるべ 面取り 障子付 3.0尺(80kg) 3.5尺 (120kg)

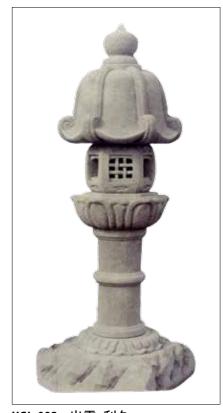


YGL-090 出雲 濡鷺(ぬれさぎ) 4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg) 4.5尺 (180kg) 6.0尺 (380kg) 5.0尺 (200kg)

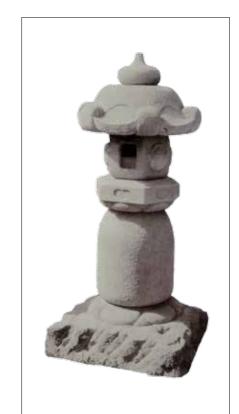


YGL-091 出雲 金山 4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg) 4.5尺 (180kg) 6.0尺 (380kg)

5.0尺 (200kg)



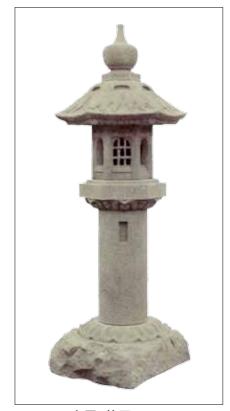
YGL-092 出雲 利久 4.0尺 (140kg) 4.5尺 (180kg) 5.5尺 (250kg) 6.0尺 (350kg) 5.0尺 (200kg)



YGL-093 出雲 善導寺 4.0尺 (200kg) 5.5尺 (350kg) 4.5尺 (250kg) 6.0尺 (550kg) 5.0尺 (300kg)



YGL-096 出雲 道風 4.0尺 (140kg) 5.5尺 (250kg) 4.5尺 (150kg) 6.0尺 (350kg) 5.0尺 (200kg)



YGL-097 出雲 苫屋(とまや) 4.0尺 (120kg) 5.5尺 (200kg) 4.5尺 (140kg) 6.0尺 (350kg) 5.0尺 (160kg)

出雲燈籠

出雲燈籠





5.5尺 (250kg) 6.0尺 (350kg) 4.5尺 (180kg) 5.0尺 (200kg)



YGL-099 出雲 ちょうけん 4.0尺 (150kg) 5.5尺 (350kg) 4.5尺 (180kg) 5.0尺 (250kg) 6.0尺 (450kg)



YGL-100 出雲 春日 4.0尺 (120kg) 5.5尺 (200kg) 4.5尺 (140kg) 6.0尺 (350kg) 5.0尺 (160kg)





YGL-102 天草 足もと角型 3.0尺 (80kg)

YGL-103 天草 足もと丸型 3.0尺 (80kg)

YGL-104 天草 ともしび型 2.2尺 (50kg)

YGL-105

天草 立ともしび型 2.8尺(100kg)



YGL-106 天草 天山型 2.5尺(50kg)



YGL-108 天草 きのこ型 2.2尺 (60kg)



YGL-118 天草 珠光型 3.0尺 (100kg)



朝見型 4.0尺



YGL-119 天草 道標 2.0尺(40kg) 2.5尺(50kg)



YGL-128 天草 岬 2.0尺(50kg)



YGL-129 天草 玉手 1.7尺 (45kg)



YGL-138 ポスト 4.0尺

水 鉢

瓦

MZ-004 甲州鞍馬石 水鉢 5寸・6寸・7寸・8寸・1尺 状況により、採掘のできない場合があります。









MZ-014 鉄鉢 1.0尺(35kg) 1.8尺 (110kg) 1.2尺 (45kg) 2.0尺 (150kg) 1.5尺 (75kg)

MZ-019 銀閣寺型

1.2尺 (110kg) 1.8尺 (320kg)

1.5尺 (270kg) 2.0尺 (400kg)

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。



1.0尺 (35kg) 1.8尺 (110kg) 1.2尺 (45kg) 2.0尺 (150kg) 1.5尺 (75kg)

MZ-020 銭鉢

1.2尺 (45kg)

1.5尺 (75kg)

1.0尺 (30kg) 1.8尺 (110kg)

2.0尺 (150kg)



▲ 算からつくばいへと流れ落ちる水が、周りの化粧砂 利を光り輝かせます

手燭石







写真はイメージです。



1.2尺(70kg) 1.8尺(250kg) 1.5尺 (130kg) 2.0尺 (400kg)



MZ-022 袈裟型 1.5尺 (200kg) 1.8尺 (280kg)



1.0尺 (100kg) 1.8尺 (250kg) 1.2尺 (120kg) 2.0尺 (400kg) 1.5尺 (150kg)

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

つくばいは茶事の時客人が席入りする前に手を洗うためのもので、 手水鉢を中心として、前石(ぜんせき)、手燭石(てしょくいし)、

湯桶石(ゆとうせき)などを配置した一組をいいます。水鉢の前に

現在では茶庭以外にも草花を引き立てる脇役として日本庭園には

つくばって手や口を清めることからその名がつきました。

かかせない素材となっています。

208 YAMAICHIYA N-18 YAMAICHIYA N-18 **209**

31

水 鉢



MZ-029 石臼型 ϕ 400×200 (30kg)



MZ-030 さかずき型水鉢 φ690×120 (50kg)



MZ-031 水鉢 φ600×180 (50kg)



井筒井戸 古ひきうす

井戸は古くから生活に欠かせない重要なものでした。この井戸を保護保安する設 備として石で作った囲いのことを井筒と呼び、庭園に配置することによって水にま つわる物語が生まれ、景趣を添えます。

石臼は古くから穀類を粉状にするための器具でした。円筒形の上臼と下臼の二石 からなり、上臼の穴から穀類を入れ挽いていたものです。



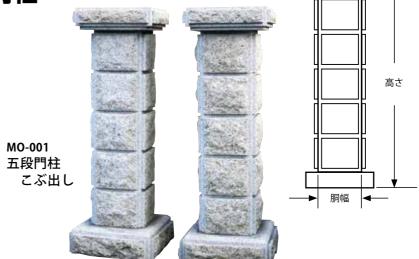


IZ-001 井筒井戸 こぶだし 1.0尺 (180kg) 1.8尺 (800kg) 2.0尺 (980kg) 1.2尺 (220kg) 1.5尺 (440kg)



IS-001 古ひきうす (骨董品) 骨董品の為、大きさは個々に異なります。





東石規格表 (角)

門柱規格表

胴幅×高さ 1.3尺×6.0尺 1.5尺×6.0尺

不归处[[1]	
大きさ	天端×底辺×高さ
4 寸角	120 × 170 × 180
5 寸角	150 × 205 × 205
6 寸角	180 × 250 × 240
7 寸角	210 × 280 × 275

束石規格表 (丸)

大きさ	天端×底辺×高さ
4 寸丸	φ 120 × 172 × 185
5 寸丸	ϕ 150 × 207 × 205
6 寸丸	φ 180 × 246 × 235

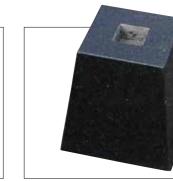
束石 輸入御影石



TU-011 束石角磨き 白御影



TU-012 束石 角 磨き



TU-013 束石 角 磨き



TU-021 束石丸磨き



TU-022 束石丸磨き



TU-023 束石丸磨き

束石 国産品



TU-030 伊勢束石



TU-031 甲州鞍馬 束石 状況により、採掘のできない場合があります。

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

置物



じゅろうじん 寿老人



べんざいてん 弁財天



ほていましょう **布袋和尚**



びしゃもんてん



だいてくてん







親子蛙



招き猫

テーブル



※形状は自然石のためカタログの写真と異なる事があります。

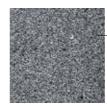
石材の表面仕上げについて

自然から生まれた天然素材である石材は、経年変化に優れ、地層・産地によって それぞれ表情が異なります。また、表面仕上げの方法によっても、高級感や温かさ、 繊細なイメージと、石の持つ風合いが変わっていきます。

エクステリアとして、使用する環境にあった雰囲気を演出するため、 様々な加工方法により、素材の個性を活かしつつ仕上げていきます。



表面仕上げの種類



機械びきを行った後に、研磨機等により 粗磨き、水磨き、本磨きの順に磨き、材質 に応じた最上の光沢を出す仕上げ。



●こたたき

石材の表面を一枚刃(この工具を両刃と いう)を使い表面に2mm前後の間隔で 叩き平らに仕上げる。

燈籠の仕上げに良く使われます。



機械びきを行った後に、石材を加熱する 事により石英、雲母、長石が別々膨張し 表面から剥離する。この性質を利用して 表面を粗面に仕上げる。



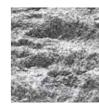
のみきり

石材の表面を先の尖ったのみと金槌で、 削りながら平らに仕上げる方法。



●ビシャン

石材の表面を鉄槌(40mm×40mm)前後の 面を目割りしピラミッド型の刃が刻まれて いる)を使う事により表面に細かな点状の 後を残す仕上げ。



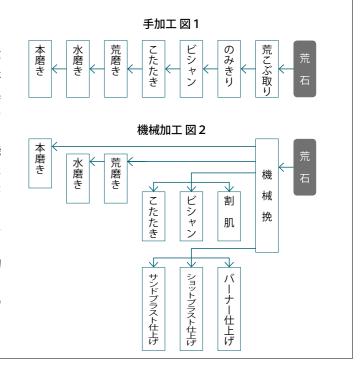
割肌

石材を割ったままの石肌。

石材の加工については、伝統的に図1のように、 割肌状態の石材(荒石)の表面の凹凸を取り去り、次第 に平滑にしたうえ、研磨して光沢を発揮させる状態(本 磨き) に至る一連の作業として、それに使用する工具 などの名称などによって示されている場合が多いよう です。

しかし、現在では、ガングソーや丸鋸などの切断機 械の発達により、石材は必要な形状寸法に挽かれた 段階で、すでにその表面は、すぐ磨き作業に入れるほ ど平滑に仕上げるために、図2に示すように、ビシャ ンや小叩きのような、磨きの手前までの作業が不要に なっています。

反対に、表面を粗面に仕上げるために、平滑な切 断面にビシャンや小叩きを行う場合などがあり、図2 に示した伝統的な各種の石材加工の名称は、石材の 表面仕上げの程度を示す名称となっています。



表面仕上げの比較

白 御影石



















桜 御影石









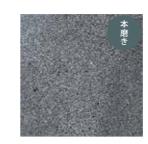




▲板石を縦長に使う事で通路が長く見え、周りの自然石と緑がより一層栄えます。

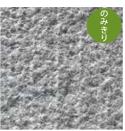
表面仕上げの比較

グレー 御影石



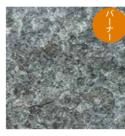
























▲広い敷地内も板石バーナーと板石のみきりの使い分けで、 濃淡のある敷地に生まれ変わります。

214 YAMAICHIYA N-18 YAMAICHIYA N-18 **215**